

第22回 (2023年度)

母から子への手紙コンテスト

上位入賞作品

あなたに
伝えたい
想いがある



第22回心の手紙コンテスト

母から子への手紙

応募用紙

あ	り	だ	だ	が	そ	出	い		た	い	と	で	う	た	さ	た	日	の	
さ	が	ね	の	。	こ	て	た	モ	ゴ	フ	か	モ	ち	シ	ん	子	は	日	今
ん	と	。	が	何	こ	ら	。	ヤ	飯	も	期	帰	は	。	。	。	。	。	年
	う	そ	。	度	に	ま	。	モ	が	エ	待	母	。	。	。	。	。	。	も
あ	。	う	お	。	。	し	。	ヤ	心	リ	も	の	。	。	。	。	。	。	完
り	は	か	か	。	。	た	。	解	に	力	し	ら	。	。	。	。	。	。	全
が	無	。	あ	何	。	。	。	消	染	を	な	。	。	。	。	。	。	。	無
と	い	だ	さ	度	あ	。	。	。	み	込	が	。	。	。	。	。	。	。	視
う	の	か	ん	。	。	。	。	。	た	め	。	。	。	。	。	。	。	。	で
。	ね	。	。	。	。	。	。	。	の	。	。	。	。	。	。	。	。	。	し
が	。	私	あ	字	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	た
。	既	に	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	ね
そ	に	は	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
こ	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
に	生	お	う	の	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
あ	分	母	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
。	の	さ	だ	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
た	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
が	お	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
ら	か	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。

50字以内で記入してください

50字以内で記入してください

◎手紙文解読(必要でしたら参考までにお書き下さい)
 「言葉にこぼれるのは成長の証だと、自分を慰める母のエピソードです。」

受付No. 207

大賞
 上島 直美 さん
 (埼玉県)

健斗さん、あなたは最高の(娘の)夫で、
 (孫の)パパです。娘が出産時に緊急搬送さ
 れ一ヶ月生死をさまよったとき、生まれれば
 かりの赤ちゃんを、僕が育てますと宣言。
 オムツもミルクも入浴も本当によく頑張しま
 した。娘が退院してから、もっとな変でし
 たね。大量に輸血した娘は母乳を禁じられ、
 心臓マッサージで胸骨を骨折したため赤ちゃん
 んを抱くこともできない。そんな自分を責め
 て、強度の産後鬱になりました。私なんか
 どうせだめママだと思ってるんですよ！と
 泣きわめく娘、治療の後遺症で全身痣だらけ
 の身体を見られたくないと目を避ける娘は
 親さえ途方にくれる腫れ物でした。健斗さん
 辛かったでしょう、ごめんなさい。
 娘が身体と心を回復できたのは、健斗さん
 の愛情と赤ちゃんの成長のおかげです。文君
 は誕生日前に歩き出した元気な男の子です。
 今日もパパがいてと肩車や超高い高いを
 ねだっています。文君、パパは最高だね！

母から子への手紙コンテスト

母から子への手紙コンテスト

©手紙文解説(必要でしたら参考までにお書き下さい。)

受付No.

準大賞
 中澤 ひろみ さん
 (群馬県)

兄を追いかけ走り回っていた六歳の夏、
 君は突然病魔に襲われた。ネフローゼ症候群
 の中でも「巣穴系球体硬化症」という難病。
 大学一年の夏、私から腎移植を受けるとは
 聞くも涙語るも涙のドラマがあったね。
 徹しい塩分と水分、運動の制限。薬の副作用
 用で顔はパンパンになつた。小童状態になつ
 こも常に毎夜にビクビクし、一旦入院となる
 としばらく家へ帰れない。高校一年の時には
 四ヶ月程復た切り状態になつた。十六歳で下
 を取つてもらおうという屈辱にも耐えた。また
 、家庭での腹膜透析も経験した。毎晩三〇人
 の透析液交換が、当時の君の命綱だつたね。
 とんは状況下でも、泣き事も言わず現実を
 受け入れた君を母は誇りに思う。苦難を乗り
 越えて来た分、誰より幸せいはれると、いいな
 。まだ闘いは続くけれど、病気とはうまく付
 き合ひながら長生きしてほしいね。
 この秋、君は誰より強く、幸せに換ひたい父と
 楽しむだね！嬉しだね！幸ね！
 ね！

余白に記入していただく

余白に記入していただく

◎手紙文解説(必要でしたら参考までにお書き下さい)

二人への称賛とこれからへのエールです！

受付No.

559

日本郵便賞
 浅見 文子 さん
 (愛知県)

た		過	突	き	指		マ	パ	想	の		を	マ		キ	賞	を	
君	十	去	扶	、	先	国	い	ー	定	と	高	境	お	い	幼	し	カ	マ
は	一	に	試	合	が	家	た	マ	外	思	3	に	母	た	か	た	ツ	お
私	年	類	験	格	温	試	私	屋	の	マ	の	床	さ	。マ	こ	日	ト	母
の	目	を	で	通	ま	験	だ	さ	言	マ	夏	屋	ん	文	た	と	は	、
誇	、	見	苦	知	ら	は	マ	ん	葉	い	、	さ	の	句	頃	を	嬉	マ
り	漸	な	戦	が	な	二	た	の	に	た	成	ん	カ	を	は	今	し	く
だ	く	い	し	届	い	月	か	ら	家	驚	績	へ	ツ	言	、	も	さ	れ
。	自	と	た	く	、	の	ら	庭	嘆	マ	優	と	ト	わ	節	鮮	以	た
ブ	分	言	君	ま	鉦	寒	。	が	し	俺	秀	移	は	な	約	明	上	。
ラ	の	わ	も	で	を	い		目	た	、	な	行	も	か	し	に	初	髪
ボ	お	れ	筆	は	落	朝		指	。理	君	は	し	う	マ	よ	覚	恥	め
ー	店	、	記	落	と	一		す	大	容	は	た	嫌	た	う	え	ず	マ
、	を	感	試	ち	せ	番		者	抵	師	に	大	。	だ	君	と	マ	君
お	才	動	験	着	ば	目		と	は	に	学	淋	レ	も	私	い	し	に
め	ー	し	は	け	即	の		ぼ	床	な	進	し	と	成	が	る	さ	カ
で	プ	た	満	な	失	グ		かり	屋	る	学	か	。	長	髪	。	で	ツ
と	ン	。	点	か	格	ル		り	さ	か	す	マ	こ	と	を		ド	ト
う	さ		、	マ	と	ー		思	ん	ら	る	た	の	共	切		キ	し
、	せ		と	た	聞	マ		マ	と	レ	も	。	日	に	マ		ド	マ

余白に記入しないこと

余白に記入しないこと

◎手紙文解説(必要でしたら参考までにお書き下さい)

受付No.

優秀賞
 海老原 美千子 さん
 (福島県)

頼	背	し	界	う	す	世	成		う	い	に	に	え	学	悩	る	校			菜
さ	中	た	で	「	る	界	長	生	言	う	も	戻	て	校	ん	」	三			香
れ	を	。長	一	嬉	の	で	し	命	っ	お	な	っ	く	に	で	と	年			へ
る	見	男	番	し	。私	一	ま	を	て	父	り	て	れ	合	い	言	に			
素	て	が	頑	い	を	番	し	取	お	さ	ま	地	格	いた	っ	っ	な			
敵	き	「	張	メ	頑	頑	た	り	き	ん	ま	元	し	の	て	、	生			
な	た	看	っ	ー	張	張	ね	上	ま	に	し	の	た	大	、	勉	突			
助	の	護	二	ル	っ	っ	。一	げ	し	「	。一	学	見	学	強	然				
産	で	師	人	が	て	た	誕	る	た	や	菜	事	三	校	を	の				
師	し	に	の	届	産	日	生	現	よ	れ	香	に	年	に	始	よ				
にな	よ	なり	お	き	ん	か	日	場	。	ば	は	看	間	に	め	う				
っ	う	たい	母	ま	で	ら	っ	に		で	、	護	の	、	ま	に				
て	。妊	「	さ	し	く	、	、	立		子	頑	師	自	東	し	に				
く	婦	あ	ん	そ	れ	だ	お	ち		だ	張	に	炊	京	た	、				
だ	さ	な	に	し	て	か	母	会		か	っ	な	の	の	。	き				
さ	ん	な	も	て	あ	ら	さ	っ		ら	た	一	寮	生	き	つ				
い	か	た	な	、	り	お	ん	、		「	な	」	活	活	と	と				
。母	ら	の	り	世	が	祝	が	ま		そ	と	耐	も	耐	、					
	信		ま		と	い	が	た				幌	も							

20 × 20

355

優秀賞
鎌田 あい子 さん
 (北海道)

第二十二回 母から子への手紙コンテスト 原稿用紙 ※印刷してお書きください。

裏面に氏名・住所・電話番号・年齢・職業を明記し、一作品ずつ封書に入れ、切手を貼って郵送願います。
 入賞作品は、内容・氏名・年齢・職業・市区町村名を、本・新聞・テレビなどで公開する場合があります。
 ご承諾いただけない場合は入賞の対象としません。確認のため丸で囲んでください。↓

承諾しました

た	ま	ま	長	れ	い	に	い	た	こ	ば	く	母	っ	で	う	し	い	と	
。	ま	す	は	る	っ	は	荷	時	と	さ	っ	さ	て	食	し	た	わ	問	夏
こ	で	っ	お	。	も	異	物	に	ば	ん	っ	ん	く	べ	。	ご	っ	い	休
ん	っ	っ	母	あ	っ	変	を	は	っ	の	い	。	る	る	そ	飯	っ	詰	み
な	信	て	さ	り	お	に	運	買	か	匂	て	頭	か	。	う	に	て	め	中
こ	号	出	ん	が	母	気	ん	い	り	い	き	使	ら	っ	言	っ	言	た	ゴ
と	の	掛	の	と	さ	付	で	物	!	が	た	っ	相	お	っ	は	う	ら	口
言	っ	赤	け	筋	う	ん	い	く	に	だ	す	か	て	母	て	っ	レ	っ	ゴ
っ	は	よ	み	。	っ	て	れ	付	け	る	と	る	に	さ	た	?!	へ	あ	口
て	止	う	で	大	大	一	る	き	ど	っ	思	か	な	ん	の	戦	私	し	
も	ま	と	す	人	丈	番	し	合	肩	っ	っ	?	り	。	に	時	は	あ	て
ら	れ	し	。	に	夫	に	っ	が	て	た	っ	。	。	将	ム	中	担	。	る
え	よ	た	今	近	?	助	ト	て	痛	。	ら	っ	私	棋	シ	か	担	。	か
る	っ	ら	朝	付	っ	け	イ	く	く	ホ	っ	て	が	や	ム	?	者	当	ら
私	っ	。	。	く	っ	に	レ	れ	マ	ン	お	言	負	ろ	ム	今	か	者	勉
は	て	寝	っ	あ	て	来	で	て	通	ト	母	う	け	う	シ	。	?	者	強
幸	返	転	行	な	言	て	倒	黙	院	に	失	ん	。	っ	ヤ	っ	。	変	し
せ	っ	が	っ	た	っ	く	れ	っ	し	。	ん	。	ら	っ	い	っ	。	え	た
だ	て	っ	て	の	て	れ	た	て	て	。	。	急	っ	て	い	て	用	ほ	の
ね	き	た	き	成	く	た	時	重	い	。	。	お	。	誘	音	言	意	。	か

20×20=400

364

備考 高校生、次男との夏休みの対話を手紙に残しました。
 作品についての説明など、必要な場合は、参考までに備考欄へお書きください。

優秀賞
 遠藤 華央留 さん
 (岐阜県)

結婚して25年前のことです。突然彼と連絡がとれず、
 来たるは25年前のことです。突然彼と連絡がとれず、
 を前にして、私は不快感を感じ、結婚を認めず、
 事のできなかったからです。しかし宿つた
 いう命の尊さを考えること承諾せざるをえませ
 んでした。私の心配は杞憂に終わりました。
 あつたのは堅実な生活を重ねてきた。私の偏
 見と不安を見事に覆して、強い責任感
 と勤勉さで社会から一目置かれる存在にな
 った。その孫も心優しい青年に育つ
 てくれた。あなたの人を見る眼には曇りが
 なく、その娘の世間体も何となく危うく
 ない。その生を潰すところまで切つて
 本当にありたい。私の反対を押し切つて

※印刷用紙に記入してください

※印刷用紙に記入してください

◎手紙文解説(必要でしたら参考までにお書き下さい。)

受付No.

497

優秀賞
 関西 多久美 さん
 (岐阜県)

第22回の手紙コンテスト
母から子への手紙
応募用紙

あなたが小学生の頃、寝る前に「お母さん、ボクね、今日使ったモノに感謝して寝るよ」と靴さん、服さん、鉛筆さん、ありがとう。私、ハツとニッコリしながら言うていたね。私、ハツと「したよ。胸がジンときた。だからね、私も実践中だよ。寝る前に「今日着た服さん、私を暖かくしてくれてありがとう。靴さん、雨の中私を守ってくれてありがとう」と言ってるの。一つ一つのモノに愛と感謝を込めること、当たり前前すまの気持ちかな。た。寝る前に言うこととモノ運も「お役に立てて嬉しいな」と喜んでいゝと感ゝる。何より自分自身心地いい。あし本当に大切なことを教えてくれてありがとう。あなたを産み育てて本当に幸せだよ。

臆さん、今日もありがとう。なると言ってますよ。自分の体に感謝の言葉がけをしています。

元気。息子よ、ぜひ試してみたらね。

◎手紙文解説(必要でしたら参考までにお書き下さい) 授付No. 561

大人になった息子へ。大切なことを教えてくれてありがとう。

優秀賞
織茂 麻子 さん
(宮城県)

第二十二回 母から子への手紙コンテスト 原稿用紙 ※印刷してお書きください。

裏面に氏名・住所・電話番号・年齢・職業を明記し、一作品ずつ封書に入れ、切手を貼って郵送願います。
 入賞作品は、内容・氏名・年齢・職業・市区町村名を、本・新聞・テレビなどで公開する場合があります。
 ご承諾いただけない場合は入賞の対象としません。確鑿のため丸で囲んでください。↓ 承諾しました

は	会	繫	た	還	た	よ	水	志	言	一	忙	け	こ	花	大	て	
願	え	い	と	残	替	ら	り	水	っ	マ	し	ど	毎	も	火	い	八
っ	る	こ	、	り	を	間	任	わ	た	マ	い	、	年	楽	大	な	月
て	日	一	あ	の	過	違	事	け	水	時	ほ	こ	フ	し	会	か	十
い	バ	緒	と	人	ぎ	え	を	こ	ま	の	任	の	ア	マ	お	っ	六
ま	一	に	何	生	日	な	優	も	せ	、	事	日	ミ	マ	に	た	日
す	日	花	日	、	々	く	先	な	人	あ	だ	に	レ	も	し	け	花
。	こ	水	一	遠	後	あ	し	い	。	な	か	休	ス	一	て	子	火
元	目	を	緒	く	悔	な	こ	め	一	た	ら	お	緒	い	の	ど	口
気	多	見	に	離	可	た	し	に	日	の	パ	を	働	に	た	頃	会
こ	く	上	過	れ	る	と	ま	、	休	淋	パ	取	い	行	こ	の	福
い	あ	げ	こ	こ	出	っ	変	ん	し	と	る	こ	こ	と	あ	近	こ
こ	り	る	せ	生	と	か	た	な	だ	そ	行	こ	い	う	の	な	今
ね	ま	日	る	活	バ	り	あ	責	と	う	っ	と	た	レ	ひ	た	年
。	す	は	め	し	鳩	た	の	任	こ	な	て	バ	私	と	と	に	は
	よ	来	か	て	え	こ	頃	感	う	願	来	こ	に	せ	つ	と	行
	う	る	な	い	ま	し	。	こ	こ	が	て	き	と	が	だ	っ	わ
	に	の	、	る	し	よ	か	あ	店	今	淑	な	っ	ま	っ	近	催
	、	か	午	あ	た	う	だ	な	バ	こ	レ	く	て	水	た	た	さ
毎	な	を	な	。	。	。	。	た	漬	も	と	て	、	た	ね	と	水

20×20=400

976

備考

作品についての説明など、必要な場合は、参事までに備考欄へお書きください。
 夢と追いかけて十五歳で海外へ行ってきた娘へ

優秀賞
 玉井 雪江 さん
 (山梨県)

すべての入賞作品集は、第21回(2022年)と第22回(2023年)を1冊にまとめて、2024年の春に発行予定です。
【事務局】猪苗代町絆づくり実行委員会 〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町字鶴田141-1 ☎0242-72-0180